

フロムナード NO. 3

—2012年5月31日発行—



金環日食は見ましたか？ 日食メガネを使うと、本当にはっきりと太陽を見ることができました。少し欠けた太陽は、「えっ、太陽ってこんなに小さくてかわいかったの?!」金の輪になったときは本当に感動でした！ さて、6月にも天体ショーがあります。4日(月)の部分月食と6日(水)の金星の太陽面通過です。これもまた貴重な体験になりそうですね。

6月には、政治ショーもあります。世界の首脳が話し合うG20(20カ国地域首脳会合)、国内では21日に会期末を迎える通常国会などです。

そして、身近なところでは大事な文化祭が23日(土)ですね！ もう準備を始めているクラスもあります！ どんな舞台や企画が見られるのか、今からとっても楽しみです(^_^)

6月の注目ニュースと関連する本



6/23(土)
清風祭!

「これから見られる
日食と月食
データブック
2012-2050」
日食、月食の観測に必要な情報を網羅。

「2100年、人口3分の1の日本」
日本の人口は100年後には4千万人に減少か。それは社会にどんな影響をもたらすのか？人口から見る未来予想図。



「文化祭企画・アイデア事典」
企画運営のノウハウからアイデア、コツ、参考になる具体的な最新事例まで盛り沢山。

「高校生のための政治学—現代政治のしくみをやさしく紐解く」
杉山真木著



「世界一わかりやすいTPPの授業」
TPP(環太平洋経済連携協定)について、「のり弁」から解き明かす!



「そうだったのか!
池上彰の学べるニュース③国際問題・外交編」
旬のニュースの疑問を解決!

「高校生にもわかるお金の話」
知らないと損をする、お金入門。生涯収入が1億円も変わるって、本当!?



★新着本 ピックアップ★

「猫弁—天才百瀬とやっかいな依頼人たち」
大山 淳子著(講談社文庫)
あまりにイケてない主人公・百瀬、しかもお話は、おおっ、そりゃまた、まさか! ? という方向へ転がっていきます。そして意外性たっぷりなめでたく終わる。ミステリー小説なのに、最後はほっこりとした気分になれる不思議な小説です。



「3月のライオン1-6」
羽海野(うみの)千カ著
主人公は若干17歳にして天才棋士の「桐山零」。幼い頃に、何もかも(夢も家族も居場所も)失った彼の成長、プロ世界の厳しさや深さ、本当の強さとは何かなど読み応えのある作品です。



「日常の疑問を物理で解き明かす」原康夫著
(サイエンス・アイ新書)
スカイツリーの展望台からどこまで見える？
携帯電話をアルミホイルで包むとどうなる？
そんな日常のふとした疑問を物理の視点であざやかに説明してくれます。



「少女は卒業しない」朝井リョウ著
廃校が決まった地方の高校、最後の卒業式。少女たちが迎える、7つの別れと旅立ちの物語。青春のすべてを詰め込んだ、珠玉の連作短編集。